

スポーツえひめ

vol.8

July 2022

発行

公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

〒790-0843 松山市道後町2丁目9番14号 TEL.089-911-1199 FAX.089-911-0234
URL:<http://www.insnet.ne.jp/hp/etaiky/> E-mail:ehime-sports@blue.ocn.ne.jp



- 1 巻頭言
公益財団法人愛媛県スポーツ協会 会長 大塚 岩男
- 2 令和3年度 事業報告 / 決算報告
- 3 令和4年度 事業計画 / 収支予算
- 4 公認スポーツ指導者更新に関する特例措置

- 5 運動部活動の地域移行について
- 6 女性スポーツサポート研修会
令和3年度スポーツ振興くじ助成金助成事業について
- 7 栃木国体日程・会場地マップ

巻 頭 言

ご 挨拶

公益財団法人愛媛県スポーツ協会 会長
大塚 岩男



皆さま方におかれましては、日頃から、本協会の円滑な業務運営にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年の7月、高校生のスポーツの祭典全国高等学校総合体育大会、インターハイが四国で開催されます。スローガン「燃え上がれ 我らの闘志 四国の大地へ」のもと、本県では、体操競技など8競技が開催されます。インターハイの地元開催は、参加する高校生の競技力の向上はもとより、支える立場で大会運営に携わる高校生も大きな感動や達成感を得ることができ、次代を担う人材の育成に資するものであります。また、県民の皆さまも、5年前の「えひめ国体」で実感したスポーツの持つ多彩な魅力を再認識いただけるものと存じます。今回の大会が、参加する選手や大会関係者、そして県民の皆さまにとりまして、思い出に残る素晴らしい大会になることを期待しています。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により一昨年の鹿児島国体の延期に続き、昨年の三重国体も中止

となりました。しかしながら、今年の栃木国体は、総合開会式の観覧者募集がスタートし、選手団による入場行進も予定され、3年ぶりに華やかな式典となる見込みです。6月下旬から、高知県を主会場として国体の四国ブロック大会が開始されておりますが、ブロック大会を突破し、本県が目標に掲げる天皇杯10位台の獲得に向け、選手や関係者の皆さまの奮闘を期待しています。

新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況が続いていますが、ウイズコロナを前提としながら経済、社会活動が徐々に再開し始めています。適度な運動やスポーツ活動に取り組むことは、心身の健全な発達に重要でありますので、本協会としても、「新しい生活様式」に十分配慮しながら、県や市町、加盟団体、スポーツ少年団などとの緊密な連携のもと、引き続き、競技力の向上や県民の皆さまのスポーツ活動を積極的にサポートしてまいりますので、皆さま方には、更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

監事	竹本 道代	元(公財)えひめ女性財団常務理事
監事	上田 憲二	㈱フジ顧問
監事	原田 満範	公認会計士
理事	吉田 孝	愛媛県観光スポーツ文化振興局 地域スポーツ課長
理事	山口 貴史	愛媛県相撲連盟理事長
理事	山口 奈美	一般財団法人愛媛県柔道協会理事
理事	松野 勝利	愛媛県観光スポーツ文化振興局 競技スポーツ課長
理事	堀川 映子	愛媛県テニス協会常任理事
理事	中山 桂	一般財団法人愛媛陸上競技協会専務理事
理事	豊島 吉博	一般社団法人愛媛県サッカー協会名誉会長
理事	俊野 徹人	一般社団法人愛媛県剣道連盟会長
理事	島原 茂	宇和島市スポーツ協会副会長
理事	佐伯登志男	(公財)愛媛県スポーツ振興事業団常務理事
理事	川中 慶明	愛媛県高等学校体育連盟理事長
理事	川崎 幸子	愛媛県ママさんバレーボール連盟会長
理事	岡田 温仁	㈱愛媛銀行公務ふるさと振興部長
理事	遠藤 美武	一般社団法人愛媛卓球協会副会長・理事長
理事	今川俊一郎	元愛媛県医師会常任理事
理事	明比 昭治	愛媛県スポーツ少年団本部長 愛媛県議会スポーツ振興議員連盟会員
専務理事	寺尾 和祝	愛媛県スポーツ協会専務理事・事務局長
副会長	土居 英雄	㈱愛媛新聞社代表取締役社長
副会長	戒能潤之介	愛媛県議会スポーツ振興議員連盟会長
会長	大塚 岩男	㈱伊予銀行取締役会長

2022年度 役員名簿

令和3年度 事業報告



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、第76回国民体育大会本大会（三重国体）が中止されるなど、スポーツ大会や各種イベントが延期又は中止され、スポーツ界においても引き続き大きな影響が生じた年度となりました。

また、県内においても感染の状況に応じてスポーツ活動が制限されるなど、関係団体に影響が生じましたが、コロナ禍におけるスポーツ活動の再開に向けた取り組みを行い、スポーツの普及・振興・選手強化など各種事業を実施いたしました。

また、公益法人としての公益性・透明性をより一層高めるため、本会が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を遵守し、進捗状況などを公表するとともに、加盟団体と連携してスポーツ・インテグリティ（誠実性、健全性、高潔性）の確保に努めました。

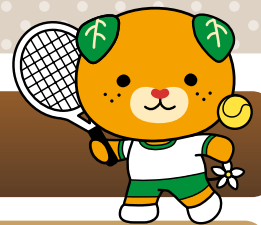
重点努力目標に対する実施状況は、次のとおり

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ活動の再開に向けた支援を行うため、特定資産の運用益等を活用して競技団体の要望に応じて、きめ細やかな取り組みを行うなど、スポーツの普及・育成・強化の推進を図った。
- 2 令和3年1月に策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を検証し、進捗状況などを公表するとともに、加盟団体等に対して一般スポーツ団体向けガバナンスコードの導入に向けた個別ヒアリングを実施し、スポーツ団体の適切な組織運営を支援した。
また、女性のスポーツ活動への参加及びスポーツ団体の女性役員の登用などについて、加盟団体に対してアンケート調査を実施するとともに、「女性スポーツ部会」を新たに設置して今後の具体的な対策を協議した。
- 3 令和5年度から段階的に実践される「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」について、学校部活動との連携、子どもの体力向上など地域課題解決に向けた連絡会議を新たに設置し、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブ等の具体的な支援方法などを協議した。
- 4 令和4年度から実施される総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度について、愛媛県及びえひめ広域スポーツセンターなどの関係団体と検討・協議を行い、制度の円滑な進捗を図った。
- 5 競技力の向上、スポーツの普及等を促進するため、スポーツ医学の専門家である医師、歯科医、薬剤師、スポーツトレーナー、栄養士などで構成する「愛媛県スポーツ医学センター」の機能充実を図るとともに、女性アスリートの三主徴（骨粗鬆症など）に対して国体候補選手にアンケート調査を行うなど、課題解決に向けた取り組みを行った。

令和3年度 決算報告



科目	予算額	決算額	差異	備考
<経常収益> (単位:円)				
特定資産運用益	9,020,000	10,563,085	△ 1,543,085	特定資産の運用益
受取会費	4,100,000	4,100,000	0	加盟団体会費
受取登録料	11,491,000	11,521,950	△ 30,950	個人登録料
事業収益	2,262,000	1,491,949	770,051	各種事業に伴う収益
受取負担金	130,000	39,000	91,000	各種事業に伴う負担金
受取補助金等	126,616,000	50,411,616	76,204,384	各団体からの補助金等
受取寄附金	2,150,000	1,840,000	310,000	団体・個人からの寄附金
雑収益	10,000	257	9,743	その他の収益
経常収益計	155,779,000	79,967,857	75,811,143	
<経常費用>				
国民体育大会派遣事業	83,039,000	10,006,897	73,032,103	国民体育大会に関する事業費
スポーツ活動顕彰事業	1,949,000	848,294	1,100,706	表彰に関する事業費
スポーツ指導者育成事業	1,352,000	755,489	596,511	指導者養成・育成に関する事業費
青少年スポーツ育成事業	6,066,000	6,135,955	△ 69,955	ジュニアスポーツに関する事業費
スポーツ普及促進事業	43,908,000	34,298,899	9,609,101	スポーツの普及振興・選手強化に関する事業費
共通	17,877,000	17,722,000	155,000	公益目的事業に共通する経費
管理費	3,575,000	2,304,742	1,270,258	協会運営に関する経費
経常費用計	157,766,000	72,072,276	85,693,724	
当期経常増減額	△ 1,987,000	7,895,581	△ 9,882,581	



令和4年度 事業計画

基本方針

令和3年に策定しました「愛媛県スポーツ協会スポーツ推進計画2021」に基づきまして、愛媛県及び加盟団体などの関係機関と連携協力して、諸事業の計画的な実施に取り組み、愛媛県が推進する「スポーツ立県えひめ」の実現に向けて努力いたします。

また、新型コロナウイルス感染症への対応を契機とした社会経済活動の変化を適切に捉えとともに、コロナ禍におけるスポーツ活動の再開を支援することにより、スポーツによる地域の活性化に取り組みます。

今後も、公益法人としての公益性・透明性をより一層高めるため、加盟団体等と連携して、スポーツ・インテグリティ（誠実性、健全性、高潔性）の確保に努めます。

重点目標

- 1 スポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を遵守し、進捗状況などを公表する。また、加盟団体等に対して一般スポーツ団体向けガバナンスコード等を導入するとともに、スポーツ団体の適切な組織運営を促進するため法人格の取得を支援する。
- 2 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛など、子どもの運動機会の減少は心身の成長に大きな影響を与えるため、(公財)日本スポーツ協会が推進するアクティブ・チャイルド・プログラムなどを活用して、子どもたちの運動環境を整える。
- 3 令和4年度から運用される「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の円滑な進捗を図る。
- 4 女性のスポーツ活動への参加及びスポーツ団体の女性役員の積極的な登用を促すため、加盟団体役員を対象に女性のスポーツ参画やハラメント防止などの研修会を開催し、意識の醸成を図る。
- 5 「愛媛県スポーツ医科学センター」の機能を活用して、専門家の派遣などを一元的に管理し、更なるスポーツ医科学の充実・拡大を図るとともに、女性アスリートの健康管理上の問題である三主徴（骨粗鬆症など）について、愛媛県医師会等の関連機関と連携協力して、その改善に取り組む。
- 6 新型コロナウイルス感染症に対処するため、web会議やオンライン講習会の開催等を推進するとともに、環境に配慮し効率的な事務を行うためペーパーレス化を積極的に導入し、加盟団体の事務経費の削減及び事務効率化を図る。

令和4年度 収支予算



科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
<経常収益> (単位:円)				
特定資産運用益	9,920,000	9,020,000	900,000	基金の運用益
受取会費	4,100,000	4,100,000	0	加盟団体会費
受取登録料	11,517,000	11,491,000	26,000	個人登録料
事業収益	2,446,000	2,262,000	184,000	各種事業に伴う収益
受取負担金	40,000	130,000	△ 90,000	各種事業に伴う負担金
受取補助金等	147,365,000	126,616,000	20,749,000	各団体からの補助金等
受取寄附金	2,200,000	2,150,000	50,000	関係団体からの寄付金
雑収益	6,000	10,000	△ 4,000	
経常収益計	177,594,000	155,779,000	21,815,000	
<経常費用>				
国民体育大会派遣事業	106,137,000	83,039,000	23,098,000	国体に関する経費
スポーツ活動顕彰事業	1,879,000	1,949,000	△ 70,000	顕彰事業に関する事業費
スポーツ指導者育成事業	1,467,000	1,352,000	115,000	指導者育成事業に関する事業費
青少年スポーツ育成事業	5,808,000	6,066,000	△ 258,000	ジュニア育成事業に関する事業費
スポーツ普及促進事業	41,629,000	43,908,000	△ 2,279,000	スポーツの普及・振興事業に関する事業費
公益共通	17,869,000	17,877,000	△ 8,000	公益目的事業に共通する費計
管理費	2,686,000	3,575,000	△ 889,000	協会運営に伴う管理費
経常費用計	177,475,000	157,766,000	19,709,000	
当期経常増減額	119,000	△ 1,987,000	2,106,000	

新型コロナウイルス感染拡大に伴う 2022年10月1日付・2023年4月1日付 更新登録に関する取り扱いについて

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、対象者・希望者のすべてを受け入れるだけの公認スポーツ指導者資格の更新研修が開催されておらず、受講が難しい状況となっております。この状況を踏まえ、本来であれば2022年3月31日・2022年9月30日までに更新研修の受講が必要となる、2022年10月1日付・2023年4月1日付更新登録・再登録に関しても以下のとおりの取り扱いといたします。

対象者

- ◎資格有効期限：2022年9月30日・2023年3月31日
- ◎資格の種類：以下の資格・競技を除くすべての資格・競技

【対象外の資格・競技】…競技別指導者資格〔水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック（コーチ4のみ）、チアリーディング（コーチ3のみ）、スクーバ・ダイビング、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー〕

※資格を複数保有している方は、資格によって要件が異なる場合があります。

※対象外の資格・競技に関する詳細は、日本スポーツ協会ホームページ及び指導者マイページの「お知らせ」をご確認ください。

対応

上記の対象者については、所定の更新研修の受講状況に関わらず、2022年10月1日付・2023年4月1日付の登録手続きの対象といたします。

本来必要な所定の研修を修了できずに登録される方におかれましては、“資格取得後も学び続ける”という更新研修の目的に鑑み、今後、研修会が受講可能になり次第、積極的に研修を受講いただくことをお願いいたします（2022年9月30日・2023年3月31日まで、もしくは、次回の有効期間中に、今回の未受講分の研修を受講することを推奨いたしますが、義務とはいたしません）。

今後の手続き

通常の登録手続きを行ってください。上記対応に伴って追加で発生する手続きはありません。

【スケジュール】

- 2022年7月下旬～8月上旬・2023年1月下旬～2月上旬頃、更新登録手続きのご案内を郵送にてお送りします。
- 2022年9月30日・2023年3月31日までに手続き（登録料の入金等）を完了してください。
- 2022年10月1日・2023年4月1日から資格が更新（再登録）され、後日、登録証（・認定証）をお送りします。

《詳細はこちら》

日本スポーツ協会トップページ
(<https://www.japan-sports.or.jp/>)
→お知らせ



指導者マイページトップページ
(<https://my.japan-sports.or.jp/login/>)
→お知らせ



運動部活動の地域移行について



※公立中学校等における運動部活動を対象

令和4年5月31日にスポーツ庁の有識者会議において、公立中学校の休日の運動部活動の指導について学校から地域のスポーツクラブなどに移行することを提言されました。詳しい内容は以下のとおりです。

運動部活動の意義と課題

意義

- 生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

課題

- 近年、特に**持続可能性という面で厳しさを増しており**、中学校生徒数の減少が加速化するなど**深刻な少子化が進行**。<生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和3年84万人>
- 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担**。<土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増>
- 地域では、**スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない**。

これまでの対応

- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る
- 中教審や国会等：「部活動を学校単位から**地域単位の取組**とする」旨指摘

目指す姿

- 少子化の中でも、**将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保**。このことは、学校の**働き方改革**を推進し、**学校教育の質も向上**。
- スポーツは、**自発的な参画**を通して「**楽しさ**」「**喜び**」を感じることに本質。**自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り**。部活動の**意義の継承・発展、新しい価値の創出**。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保**。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

改革の方向性

○まずは、**休日の運動部活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする

○**目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目標**
（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）

○平日の**運動部活動の地域移行**は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**

○**地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等**にも着実に取り組む

○**地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進**
 ※**改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識**

- ガイドラインの改訂
- 地方公共団体における推進計画の策定・実施
- 公的な支援

課題への対応

新たなスポーツ環境	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の実情に応じ、多様なスポーツ団体等が実施主体 ●特定種目だけでなく、生徒の状況に適した機会を確保 	大会	<ul style="list-style-type: none"> ●大会主催者に対し、地域のスポーツ団体等の参加も認めるよう要請 ●地域のスポーツ団体等も参加できる大会に対して支援
スポーツ団体等	<ul style="list-style-type: none"> ●先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供 ●必要な予算の確保やt o t o助成を含む多様な財源確保の検討 	会費や保険	<ul style="list-style-type: none"> ●困窮する家庭へのスポーツに係る費用の支援方策の検討 ●スポーツ安全保険が、災害共済給付と同程度の補償となるよう要請
スポーツ指導者	<ul style="list-style-type: none"> ●指導者資格の取得や研修の実施の促進 ●部活動指導員の活用、教師等の兼職兼業、人材バンク ●指導者の確保のための支援方策の検討 	学習指導要領等	<ul style="list-style-type: none"> ●部活動の課題や留意事項等について通知、学習指導要領解説の見直し、次期改訂時の見直しに向けた検討 ●部活動等から伺える個性や意欲・能力を入試全体を通じ多面的に評価 ●教師の採用で部活動指導の能力等を過度に評価して見直し
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ●学校体育施設活用に係る協議会の設置、ルールの策定 ●スポーツ団体等に管理を委託 		

※国立の中学校等でも、学校等の実情に応じて積極的に取り組むことが望ましい。
 ※公立及び国立の高等学校等については、義務教育を修了し進路選択した高校生等が自らの意思で選択している実態等があるが、各学校の実情に応じて改善に取り組むことが望ましい。
 ※私立学校でも、学校等の実情に応じて適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

令和4年度女性スポーツサポート研修会

(市町体育・スポーツ協会連絡協議会、競技団体連絡協議会)

女性スポーツ選手等に関する活動環境の改善を通じて、女性のスポーツ参加（参画）を促進し、更にはスポーツ団体への女性役員の積極的な登用を推進するとともに、女性アスリートや競技団体への啓発活動、子育て支援など、女性とスポーツに関する現状と課題の理解を深め、女性スポーツ等の環境改善に取り組むことを目的として、研修会を開催しました。



日 程／令和4年6月22日（水）

内 容／講演①「スポーツ団体における女性登用の必要性」
講演②「女性スポーツ参画の具体的な取り組み事例」
講師：松永 敬子（龍谷大学経営学部教授）

場 所／ANAクラウンプラザホテル松山南館4階エメラルドルーム

参加者／加盟団体役員、本会役員等 約80名



令和3年度スポーツ振興くじ助成金助成事業について

日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興くじ助成金の交付を受け、以下の事業を行いました。

事業内容

【スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ情報の提供】
広報誌「スポーツえひめ」発行

事業概要

本協会・加盟団体等の活動状況などについて、広報誌を通じて県内外に広く発信し、本協会の取り組みについての理解・協力を図るとともに、スポーツ振興を促進する。

助成金交付決定額

486,000円

事業実施状況

年2回合計9,200部を作成し、県内スポーツ指導者、スポーツ団体などに配布。



スポーツくじ



いちご一会とちぎ国体 競技会会期

<競技別>

【正式競技】

2021/9/1時点

競技(種目)	種別	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日	第11日	
					10/1 土	10/2 日	10/3 月	10/4 火	10/5 水	10/6 木	10/7 金	10/8 土	10/9 日	10/10 月	10/11 火	
総合開会式		宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ (栃木県総合運動公園陸上競技場)		◎											
総合閉会式																
陸上競技	全種別	宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ (栃木県総合運動公園陸上競技場)	5						●	●	●	●	●		
サッカー	成年男子	宇都宮市	栃木県グリーンスタジアム 宇都宮市河内総合運動公園陸上競技場	3		●		●	●							
		さくら市	さくら市総合公園さくらスタジアム	2		●	●									
		少年男子	真岡市	真岡市総合運動公園陸上競技場 真岡市総合運動公園運動広場1	4		●	●	●		●					
	下野市		下野市大松山運動公園陸上競技場	3		●		●	●							
	益子町		益子町南運動公園陸上競技場	2		●	●									
	少年女子	矢板市	緑新スタジアムY A I T A (矢板運動公園陸上競技場)	3			●		●	●						
		那須塩原市	矢板運動公園サッカー場	2			●	●								
			キョクトウ青木フィールド(那須塩原市青木サッカー場) グラウンドB	2			●	●								
	テニス	全種別	宇都宮市	栃木県総合運動公園テニスコート 宇都宮市屋敷運動場庭球場	4		●	●	●	●						
ボート	全種別	栃木市	谷中湖特設ボートコース	4	●	●	●	●								
ホッケー	全種別	日光市	今市青少年スポーツセンター人工芝競技場 日光市ホッケー場	5		●	●	●	●	●						
ボクシング	成年男子	日光市	日光市大沢体育館	5						●	●	●	●	●		
	成年女子															
	少年男子															
バレーボール	6人制	成年男子	佐野市	佐野市アリーナたぬま	4						●	●	●	●		
		成年女子	鹿沼市	T K C いちごアリーナ (鹿沼総合体育館)	4						●	●	●	●		
		少年男子	宇都宮市	宇都宮市清原体育館	4						●	●	●	●		
		少年女子	宇都宮市	宇都宮市体育館	4						●	●	●	●		
体操	トランポリン	男子 女子	茂木町	茂木町民体育館	1								●			
バスケットボール	全種別	宇都宮市	日環アリーナ栃木メインアリーナ (栃木県総合運動公園メインアリーナ)	5		●	●	●	●	●						
			宇都宮市体育館	2		●	●									
			栃木県立宇都宮工業高等学校体育館	1		●										
レスリング	成年男子 少年男子 女子	足利市	足利市民体育館	4		●	●	●	●							
セーリング	全種別	千葉市	千葉市稲毛ヨットハーバー	4		●	●	●	●							
ウエイトリフティング	成年男子 少年男子 女子	小山市	小山市立体育館	5						●	●	●	●	●		
ハンドボール	全種別	栃木市	マルワ・アリーナとちぎ (栃木市総合運動公園総合体育館)	5						●	●	●	●	●		
			学校法人國學院大學栃木学園第二体育館	2						●	●					
			日立栃木体育館	2						●	●					
		下野市	下野市石橋体育センター	5						●	●	●	●	●		
自転車	トラック・レース	成年男子 少年男子	宇都宮市	宇都宮競輪場	4					●	●	●	●			
	ロード・レース	女子	那須町	那須町特設ロードレースコース	1								●			
ソフトテニス	全種別	那須塩原市	石川スポーツグラウンドくろいそ(那須塩原市くろいそ運動場) テニスコート	4						●	●	●	●			
卓球	全種別	鹿沼市	T K C いちごアリーナ (鹿沼総合体育館)	5	●	●	●	●	●							
軟式野球	成年男子	宇都宮市	栃木県総合運動公園硬式野球場 宇都宮清原球場	4						●	●	●	●			
		日光市	日光市日光運動公園野球場	4						●	●	●	●			
		小山市	小山運動公園野球場	2						●	●					
		矢板市	矢板運動公園野球場	1						●	●					
		益子町	益子町北公園野球場	2						●	●					
相撲	成年男子 少年男子	大田原市	栃木県立東北体育館	3	●	●	●									
馬術	成年男子 成年女子 少年	那須塩原市	地方競馬教養センター	5						●	●	●	●	●		
フェンシング	全種別	上三川町	上三川町体育センター	4		●	●	●	●							
柔道	成年男子 少年男子 女子	宇都宮市	ユウケイ武道館 (栃木県総合運動公園武道館)	3								●	●	●		

競技(種目)	種別	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日	第11日	
					10/1 土	10/2 日	10/3 月	10/4 火	10/5 水	10/6 木	10/7 金	10/8 土	10/9 日	10/10 月	10/11 火	
ソフトボール	成年男子	大田原市	黒羽運動公園多目的運動場	3								●	●	●		
	成年女子		美原公園野球場	3								●	●	●		
	少年女子		美原公園第2球場	3								●	●	●		
	少年男子	足利市	足利市総合運動場硬式野球場	3								●	●	●		
			足利市総合運動場軟式野球場	3								●	●	●		
バドミントン	全種別	大田原市	栃木県立県北体育館	4							●	●	●	●		
ライフル射撃	50m、10m	全種別	宇都宮市	栃木県ライフル射撃場	4					●	●	●	●			
	B R、B P	少年男子		栃木県総合教育センター体育館	3					●	●	●				
		少年女子		栃木県警察学校射撃場	3						●	●	●			
	25m	成年男子	栃木県警察学校射撃場	3						●	●	●				
剣道	全種別	宇都宮市	ユウケイ武道館 (栃木県総合運動公園武道館)	3			●	●	●							
ラグビーフットボール	成年男子 女子	佐野市	佐野市運動公園第1多目的球技場	4			●	●	●	●						
			佐野市運動公園陸上競技場	4		●	●		●	●						
	少年男子	佐野市運動公園第2多目的球技場	4		●	●		●	●							
スポーツ クライミング	リード	全種別	壬生町	壬生町総合運動場特設会場	3		●	●	●							
	ボルダリング				3		●	●	●							
カヌー	スプリント	全種別	栃木市	谷中湖特設カヌー競技場	4						●	●	●	●		
	スラローム	成年男子	塩谷町	鬼怒川特設カヌー競技場	2							●	●			
	ワイルドウォーター	成年女子			2							●	●			
アーチェリー	全種別	那須烏山市	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場	3							●	●	●			
空手道	全種別	小山市	栃木県立県南体育館	3		●	●	●								
銃剣道	成年男子 少年男子	壬生町	栃木県立壬生高等学校体育館	3							●	●	●			
なぎなた	成年女子 少年女子	栃木市	関東ホーチキにしかた体育館 (栃木市西方総合文化体育館)	3		●	●	●								
ボウリング	全種別	足利市	足利スターレーン	5						●	●	●	●	●		
ゴルフ	成年男子	那須塩原市	ホウライカントリー倶楽部	3					●	●	●					
	少年男子		西那須野カントリー倶楽部	3					●	●	●					
	女子		塩原カントリークラブ	3					●	●	●					
トライアスロン	成年男子 成年女子	那須塩原市	戸田調整池周辺特設コース	1		●										

【正式競技(会期前実施競技)】

競技(種目)	種別	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日	
					9/10 土	9/11 日	9/12 月	9/13 火	9/14 水	9/15 木	9/16 金	9/17 土	9/18 日	9/19 月	
水泳	競泳	全種別	宇都宮市	日環アリーナ栃木屋内水泳場 (栃木県総合運動公園屋内水泳場)	3							●	●	●	
	飛込	全種別			3			●	●	●					
	アーティスティックスイミング	少年女子			1		●								
	水球	少年男子	小山市	栃木県立温水プール館	4	●	●	●	●						
		女子				●	●	●	●						
	男子 女子	市貝町	塩田調整池特設オープンウォータースイミング競技場	1	●										
体操	体操競技	全種別	宇都宮市	日環アリーナ栃木メインアリーナ (栃木県総合運動公園メインアリーナ)	4	●	●	●	●						
	新体操	少年女子	小山市	栃木県立県南体育館	2								●	●	
バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子 少年女子	足利市	足利市特設ビーチバレーボール会場	4	●	●	●	●						
弓道	近的	全種別	宇都宮市	ユウケイ武道館 (栃木県総合運動公園武道館)	4	●	●	●	●						
	遠的				3	●	●	●							

※全種別(成年男子、成年女子、少年男子、少年女子)

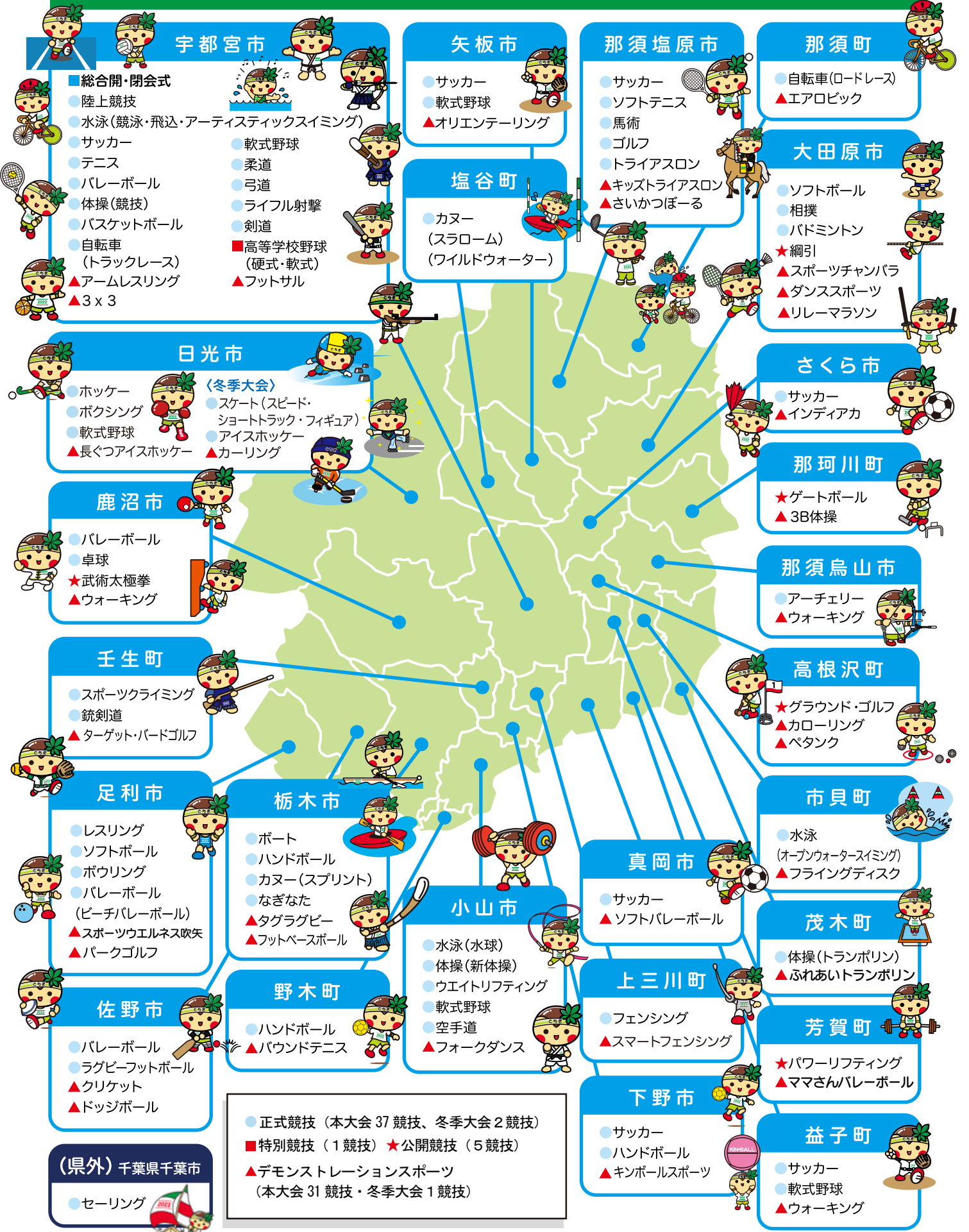
【特別競技】

競技(種目)	種別	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日	第11日
					10/1 土	10/2 日	10/3 月	10/4 火	10/5 水	10/6 木	10/7 金	10/8 土	10/9 日	10/10 月	10/11 火
高等学校野球	硬式	宇都宮市	宇都宮清原球場	3		●	●		●						
	軟式		栃木県総合運動公園硬式野球場	3		●	●		●						

【公開競技】

競技(種目)	種別	会場地	競技会場	競技 日数	競技日程
綱引	—	大田原市	栃木県立県北体育館	2	6月25日(土) ~ 6月26日(日)
武術太極拳	—	鹿沼市	TKCいちごアリーナ (鹿沼総合体育館)	2	9月24日(土) ~ 9月25日(日)
パワーリフティング	—	芳賀町	芳賀町第二体育館	3	9月17日(土) ~ 9月19日(月)
ゲートボール	—	那珂川町	小川総合福祉センター園地	2	9月3日(土) ~ 9月4日(日)
グラウンド・ゴルフ	—	高根沢町	高根沢町市民広場	2	9月17日(土) ~ 9月18日(日)

いちご一会とちぎ国体(第77回国民体育大会)会場地市町別競技



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

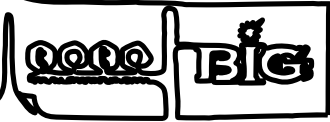
アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

